

今年度の重点目標
 ①安心安全な学校(いじめ防止・早期対応 心理的安全性の確保)②社会を生き抜く力(自律 基礎基本 個別最適 協働 探究学習)③学校・職場づくり(保護者・地域とともにある学校 働き方改革)

中期的な学校経営目標 「自ら学び、自他を尊重し、仲間と高めあえる子の育成」・スローガン ～毎日楽しい学校～ ・めざす学校像 児童が感動し、児童の期待に応える学校

記

基本方策	重点項目	具体的な取組内容					
		本年度の重点的な取組(4月)	取組指標(誰が、何を、どのくらいの頻度で)	評価指標(目標)※具体的な数字を入れる	中間結果	進捗状況(成果と課題)	改善策
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	基礎学力の向上	朝学習(オビタイム)の推進	毎朝15分のオビタイムにおいて、漢字前倒し及び反復学習・音読・百ます計算	12月学年別「熟語」テスト 平均正答率70%以上(3月80%) 保護者アンケート 学校は、基礎基本の定着に向けて取り組んでいる 90%以上	第一回漢字テスト(2~6年) 平均は40.8点で、比較できるR5年度より5ポイント高く、順調である。	●漢字前倒し学習は、6月に学年配当漢字の1回目の学習を終え反復工程に進み、7月に音読・百ます計算とともに、朝学習(オビタイム)3種目が行われている。 ●漢字、百ます計算、暗唱のマイスター認定制度は例年どおり11/6開始した。	
	自律的に学ぶ力の育成	五常小検定の実施	漢字、百ます計算、音読・暗唱のマイスター認定制度の運用(2学期より)	段位獲得児童 のべ500名以上 児童アンケート 家で自分で計画を立てて学習している 85%以上	自分で計画を立てて学習している 72%	●学ぶ意欲と学習スキルの向上を目的とする個別最適かつ協働的な学びの充実(自由進捗・複線型学習)に取り組んでいる。4月の研修、5月1回目のテストを実施し、保護者にもFBした。中高学年で計2本の研究授業を実施し、学んだスキルは全員で日々の授業に取り入れていく。ET2回目は11月実施予定である。	
		自己決定できる子ども主体の学びの校内研究	学ぶ意欲と学習スキルの向上に取り組む。複数回の研修、低中高学年1本の研究授業を行う。	2回のETテストで計測 学ぶ意欲と学習スキルの向上	左記	●学校の課外活動として、枚方出身のプロのアーティスト、アンダーグラフとともに100年応援歌プロジェクトを児童の立候補制の実行委員会として設立した。児童集会でキックオフを行い、歌詞募集担当、広報担当、返礼品担当などに分かれて児童主体に事業を進め、歌詞の募集を行った。9/16クラウドファンディングによる資金調達スタートし、10月内に楽曲が完成、総合文化芸術センターでのアンダーグラフ25周年ライブで児童とともにお披露目を行った。	
		探究学習・PBL	児童の実行委員会と枚方出身のアーティストとで本校の応援歌を作成する。	クラウドファンディングによる資金調達。全校に歌詞募集。応援歌の完成。	左記	●各学年で探究学習の取り組みが始まっている。4年生では1年間を通して「たのつく」(楽しいはつくれる。学校のスローガン「毎日楽しい学校」)をテーマに各班で企画出しと運営を行っている。全校児童を対象にしたアンケートでは90%以上の満足度を獲得している。運動会ではダンス班が振付、練習計画、指導を担い、4年生全員が楽しい運動会をめざした。6年生は、水都くらわんか花火大会の運営の課題を取材し、自分たちにてできる解決策を模索する中、大会翌日の清掃活動に参加した。	
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	いじめ不適切事案が起きにくい風土の醸成	ぶれない生徒指導	6年生がつくった「わたしたちの学校安心ルール」に基づき自制心・自律心を育てる課題予防的生徒指導を行う。	児童アンケート 先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる 90%以上 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている 84%以上	先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる 96% 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている 86%以上	●低学年にも理解できるよう、6年生が作成したルールを翻訳してオーソライズした。児童に事前明示するとともに保護者にも周知し、2学期に全校で試験運用を開始した。児童・保護者の意見を募集し、それらを踏まえ教職員で議論し、来年度4月の本格運用をめざす。	
	自他を尊重し、主体的に学ぶ力の育成	キャリア教育の充実	外部キャリアコンサルタントと連携し、自己・他者理解を深めるプログラムを実施する。児童が自分の興味・関心の方向性に気づき、自身について知ろうとする意欲を育てるとともに、他者の尊重を学ぶ。全ての学びを自分ごととして捉える主体性の獲得をねらう。教職員の研修と、学年範囲を限定しての授業を試行実施する。	目標)児童アンケート もっと自分のことについて知りたいと思う。70% もっと自分のことを大切にすべきだと思う。70% もっと友だちのことを大切にすべきだと思う。70%	もっと自分のことについて知りたいと思う。88% もっと自分のことを大切にすべきだと思う。81% もっと友だちのことを大切にすべきだと思う。97%	●外部専門家(キャリアコンサルタント)を講師に、2学期に職員研修を行った。今年度は学年範囲を限定しての授業を試行実施し、来年度本格実施をねらう。	
教職員の資質と指導力の向上	児童との時間を生み出す働き方改革の推進	超勤時間の管理 業務の精選 業務改善チームの稼働 ワークエンゲージメントの向上	教職員個別の時間外勤務時間を見える化。教職員のボトムアップで細かい業務の精選と削減。休み方改革の実施。人事施策で、職員室のコミュニケーションを改善。学年個性の発揮、裁量性の高い取り組みの促進 安全衛生委員会の発足(クラス経営)業務の標準化。	平均超勤時間の削減 昨対 1H/月・人 ストレスチェック指標の良化 教員アンケート 校長は業務改善を図り働き方改革を行っている。82%以上 教職員は業務改善を意識して働いている。77%以上	●超勤削減は、 ▲2.4H/月・人で順調。 (教員アンケートは2学期)	●超勤削減は、▲3H/月・人で順調。 ●教職員課のカウンセラーとストレスチェックを分析するとともに、安全衛生委員会を創設し、チームの初仕事としてちょっとした雑談のできる休憩室を職員室外に確保した。 ●1学期のストレスチェックでは、昨年比で改善が見られる。 ●学級経営の基礎部分の業務を標準化し、ベテランから新人まで同じように底上げを行った。	
社会に開かれた学校づくり(保護者・地域とともにある学校)	保護者・地域の主体的な参画の実現	保護者が校長へ直接意見を届ける仕組みの運用	保護者意見汲み取り実現する。見解や改善状況を学校だより等で報告する。重要案件について保護者意見を踏まえて成案とする。	保護者アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営 90%以上	アンケートは2学期	●校長への直接意見は、今年度6件届き、その意見を入れて学校運営を適宜見直すとともに、意見に対する学校の見解や改善状況を毎月学校だより等で報告している。10月に「学校安心ルール」を試験運用するにあたり、保護者からも意見を募って成案とする。	
		学校情報の積極的な発信	ブログ、学校だより等で学校情報を毎日積極的に発信する。	保護者(ア)学校の様子がよくわかる。90%以上 保護者(ア)学校の方針や教育の重点が明確である。90%以上	アンケートは2学期	●ブログ、学校だより等で学校情報を毎日積極的に発信している。今期からアクセス数が急激に増え、平均で7000件以上/月になっている。また8月は夏休みにもかかわらず、7500件、9月には9600件、10月には16000件以上/月のアクセスがあり順調にアクセスを伸ばしている。	
		保護者・地域主体の学校支援活動の発展	学校運営協議会を活性化し保護者・地域住民と新たな協働活動を行う。特に保健・人権分野(性教育)において事業を検討する。	保護者アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営 90%以上	アンケートは2学期	●いくつかの学校ボランティアグループが月1回程度の定期的、また不規則の美化活動に主体的に取り組んでいる。学校運営協議会保健人権部会は、2学期に教育政策課の性教育の講演の企画協力を行うとともに、12月独自に講演と保護者・地域の熟議を行うための、展示・資金調達イベントを7月に行うなど特に活発である。	

評価結果	改善に向けた方策